

実際の体験から発見した問題点

美術の授業で手が不自由の人たちが普段どのようなことに困っているかを体験する機会がありました。

実際に手に何重もの軍手をつけてペンを持ち上げたり文字を書いてみたところ、ペンを支えるために多くの力を使う必要がありました。

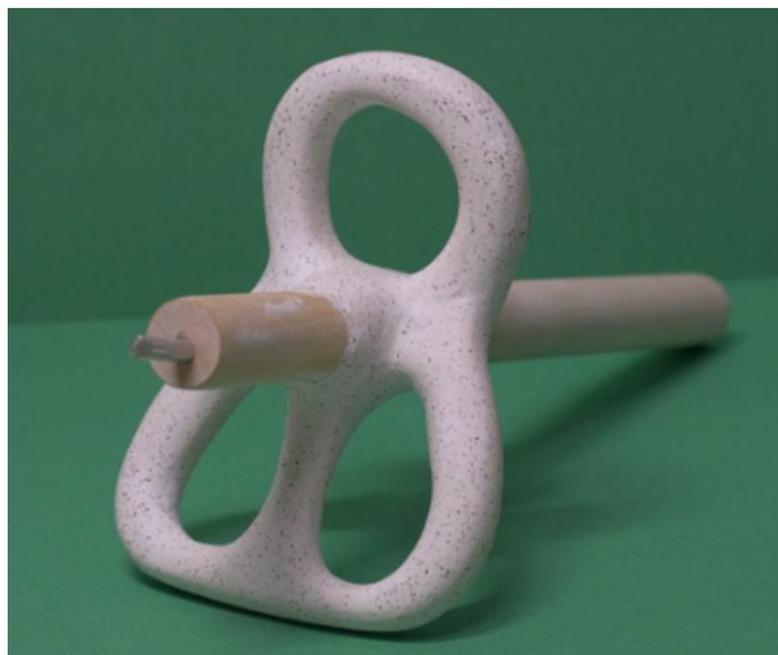


令和4年度

デザインパテントコンテスト

解決手段

指に怪我・損傷・欠損があっても少ない力のみで支えることができるようになっている。



また床などに落下した際も床とペンの間に隙間が生まれ、拾いやすくなるようにデザインされている。

UBサポートペン 作品名

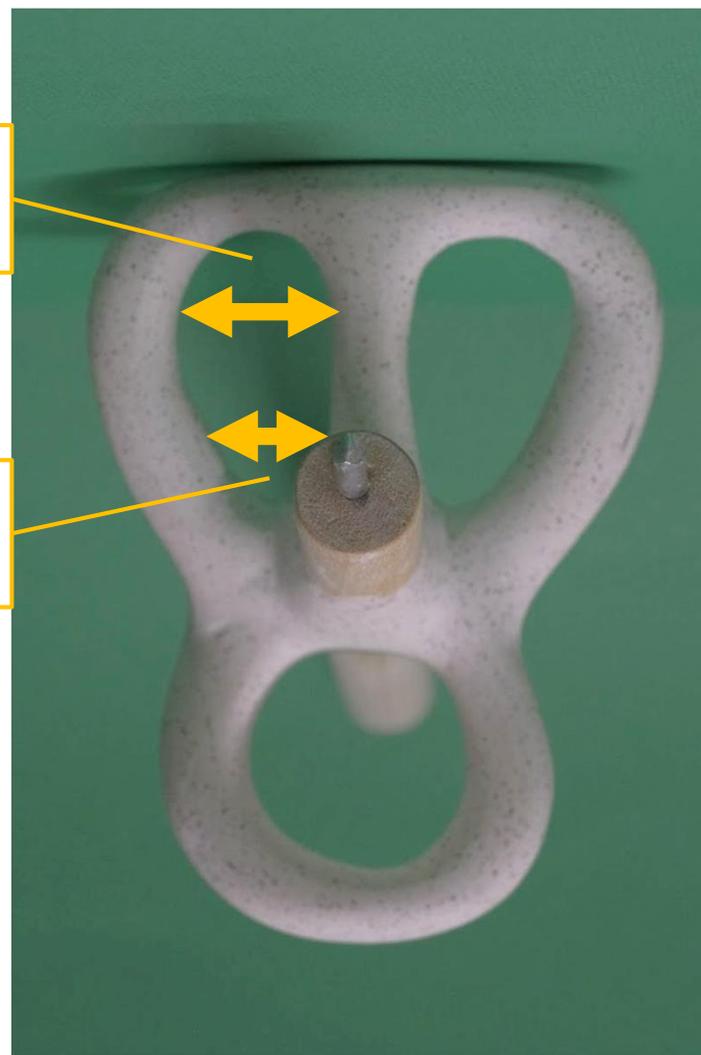
挿通孔の秘密

このペンを多くの人に使うためには、あらゆる指の大きさに対応する必要があります。しかし穴の大きさを大きくすると指が太い人にとっては良いですが、小さい人にとってはフィットせず使いづらくなります。

そこでこのように歪んだ円を採用しました。上部は指の太い人にフィットし、下部は指が細い人にフィットします。

穴が大きい

穴が小さい

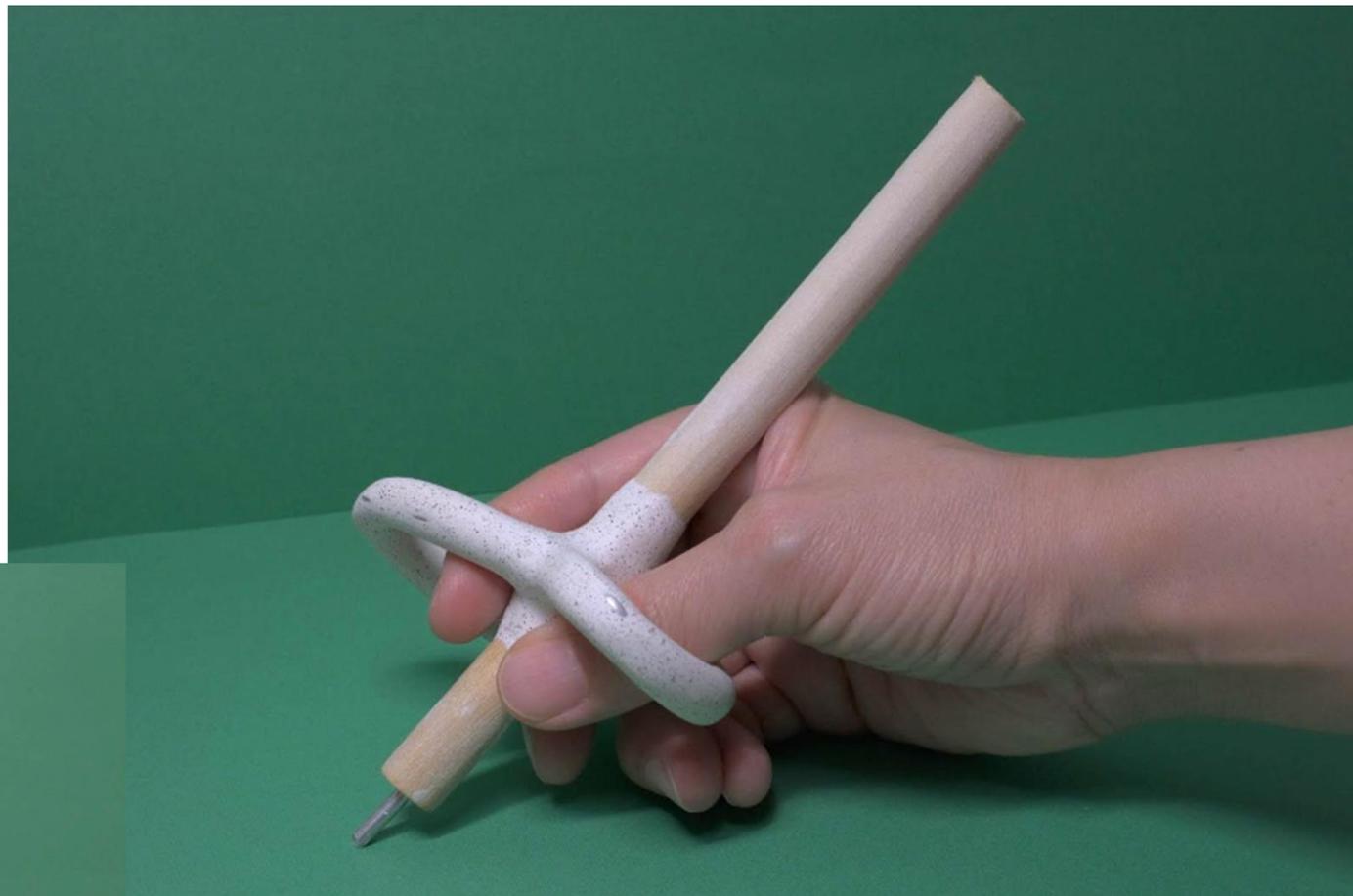


令和4年度

デザインパテントコンテスト

受賞作品

作品 説明



↑シンプルな形で使いやすいデザイン

←握りやすいように全外に角がない滑らかなデザインになっています

UBサポートペン 作品名

